

## 令和4年度第28回市政懇談会 会議録（要旨）

テーマ：地域が抱える問題について

<b>【日 時】</b> 令和5年2月16日（木） 18時30分 ～ 19時50分
<b>【場 所】</b> 万倉ふれあいセンター
<b>【出席者】</b> ○篠崎市長 万倉地区コミュニティ推進協議会会長 : 矢原 久登 万倉地区自治会連合会会長 : 境 憲一 万倉地区子ども委員会委員 : 千々松 祐子 万倉地区社会教育推進委員会・学校運営協議会委員 : 林 幸恵 安心まぐらっこの会会長 : 伊藤 和徳 ○総合政策部 ○事務局（広報広聴課、万倉ふれあいセンター、地域支援員）
<b>【概 要】</b> 1 開会 2 出席者紹介 3 参加者と市長との意見交換 4 閉会
<b>【意見交換・懇談】</b>
<b>○大型商業施設の誘致について</b> <b>【子ども委員会委員】</b> ・万倉地区に大型商業施設を誘致してほしい。万倉地区は他市からのアクセスも良く、安価な広い土地もある。大型商業施設を誘致できれば、雇用の確保ができ、地域も活性化する。人口も増え、市の発展につながると思う。 <b>【市長】</b> ・大型商業施設の出店状況を見てみると、交通の要所であれば出店の可能性はあると思っている。本市は道路網も整備されており、周辺市からの集客も期待できることから、大型商業施設の誘致も検討していきたい。 ・本市は、東京からも時間的に近く、豊かな自然もあるという強みと、子育て支援等、社員への支援も手厚いということをアピールし、企業誘致を進めていきたい。
<b>○若者の地域活動への参加促進について</b> <b>【コミュニティ推進協議会会長】</b> ・若い人が地域活動へあまり参加しないので、参加しやすくなるような取組をしてほしい。 <b>【市長】</b> ・若者が少しでも地域に入りやすくするため、「地域活動の日」の仕組みをつくったの

で、活用してほしい。

- ・子ども会との市政懇談会を実施した時、子ども会の役員を引き受けると地域の別の役員まですることがあることが、地域と疎遠になる原因の一つではないかとの意見があった。地域においても役職の棚卸等を進めてほしい。

## ○小学校の統廃合について

【コミュニティ推進協議会会長】

- ・万倉小学校は地域にとって非常に大切な学校であるので、なくさないでほしい。

【市長】

- ・「宇部市小中学校適正規模・適正配置審議会」の中で、子ども達にとっての適切な学ばふ環境について協議しており、中間答申が出たところである。
- ・中間答申では、北部地域は通学距離が長いというのが問題であるが、当面、現在の学校を維持していき、児童数が減りすぎた場合には議論をしていくことになっている。子どもたちの教育環境を第一に考え、適正配置について議論を進めていく。
- ・この計画は、10年後を見据えた長期的視点で考えていく。

## ○厚東駅経由「楠こもれびの郷」路線の新設について

【社会教育推進委員会・学校運営協議会委員】

- ・万倉地区から厚東駅は近いのに遠い。市街地や他市への通学等、大変不便であり、またバス代が高額なため、楠こもれびの郷から厚東駅を経由して宇部新川駅までのバス路線を新設してほしい。
- ・楠こもれびの郷の温泉施設「くすくすの湯」は、「第17回ニフティ温泉年間ランキング2022 山口県ランキング」で、総合3位に選ばれている。新路線ができれば、市街地や他市から電車やバスを使っの施設利用数も増えると思う。

【市長】

- ・高校生のバス定期代が高額であるとの意見は、吉部地区の市政懇談会でもいただいた。令和5年度から吉部、万倉地区の高校生が「くすのき号」を利用し、通学するときのバス代の無償化を予定している。多様な学びを保障するため、引き続き議論を重ね、通学支援を行っていく。
- ・楠こもれびの郷から立熊を経由して厚東駅間のバス路線の新設については、最終的にニーズがあるかどうかになる。令和5年度から北部地区の地域振興を共に考えるプラットフォームを立ち上げる。その中で議論に上げていただき、市も一緒に検討していきたい。
- ・また、現在運行中のデマンド交通のルートを変更し実施することも可能であるので、地域で検討していただき、都市計画課に相談してほしい。

## ○耕作放棄地及び空き家対策について

### 【自治会連合会会長】

- ・高齢化が進む当地区において、耕作放棄地及び空き家が急速に増加している。この耕作放棄地及び空き家問題は喫緊の課題として何らかの取組を考えていかななくてはならないと思っている。この取組を行っていくうえで、費用面の負担も考えられるので、行政からの支援をお願いしたい。

### 【市長】

- ・持続可能で稼げる農業を目指し、令和4年3月に「農林水産振興計画」を策定した。担い手不足の解消とともに、意欲ある農業者をしっかり応援していく。
- ・耕作放棄地対策については、農地中間管理機構に一旦預け、使う方を探すという仕組みがあるので検討してほしい。本市の耕作放棄地対策事業として、耕作放棄地を解消して農作物の作付けを行う農業者に対する補助金や、作付けに必要な機械・設備の導入に対する補助金等もあるので、併せて活用してほしい。
- ・空き家対策については、本市にとっても重要課題の一つである。空き家といえども私有財産なので、行政も勝手に出せないのが現状である。空き家にならないようにすることが一番の対策で、本市としては、空き家の流通促進を目的に、令和5年4月に「空き家流通促進プラットフォーム」の運用を開始するので、活用してほしい。
- ・また、令和5年度、住宅情報バンクに登録している物件に県外から移住する場合の助成金を、現在の30万円から最大80万円に、さらに子育て世代の場合は100万円になる仕組みを予定している。安全管理上問題のある空き家等のご相談については、住宅政策課へ連絡してほしい。

## ○大型インクルーシブ公園、防災公園の整備について

### 【安心まぐらっこの会会長】

- ・万倉地区には公園がないので、公園を整備してほしい。整備するのであれば、年齢や障害の有無に関係なく誰もが共に遊べる大型のインクルーシブル公園に防災公園の機能を持たせてはどうか。
- ・万倉地区は、各方面からアクセスが良いことから、広域災害時には救援救護活動や復旧復興活動の拠点として活用できると思う。

### 【市長】

- ・大型公園の整備には、何故その地区に必要なのか目的が必要になる。他の地区からの要望も出ており、これから立ち上げる北部地域振興のためのプラットフォームの中で検討していきたい。
- ・今年の1月に、子ども達が遊んだり、体験したりする道具を積んだ車、プレーカーを整備した。どこにでも出向き、子ども達が遊びや体験ができるので、地域のイベントに活用してほしい。

## ○学生ボランティアの交通手段確保について

### 【コミュニティ推進協議会会長】

- ・地区イベント等に学生ボランティアに参加してほしいが、公共交通機関が少ないので、交通手段がネックになっている。送迎を手配したり、経費もかかるので、支援をしてほしい。

### 【市長】

- ・本市には学生が約1万人いて、街づくりに参加したいという学生も沢山いるので、地域のイベント等に関わってほしい。地域計画の中でイベントを織り込み、その中での対応を検討していただきたい。

## ○高校生の医療費無償化について

### 【子ども委員会委員】

- ・中学生の医療費無償化は非常に助かっている所以、高校生の医療費も無償化にしてほしい。

### 【市長】

- ・本市は、「子育てするなら宇部」の実現を目指し、様々な子育て支援策を進めており、次は、高校生の医療費無償化や給食費の無償化に向けて検討を進めていきたいと考えている。